

**一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会と
災害時における被災建築物のアスベスト調査に関する協定を締結しました！！**

災害時に被災建築物からのアスベストの飛散防止対策を進めるためには、迅速に被災建築物のアスベストの露出状況を調査する必要があります。

このたび、一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会（以下「ASA」）と横浜市は、災害発生に備え、被災建築物のアスベスト調査に関する協力体制の構築について合意し、本日（1月17日）協定を締結しました。ASAは、平成28年熊本地震などでのアスベストの調査実績があり、この協定に基づき災害時における迅速な調査が期待されます。



協定締結の様子

左：野村宜彦 横浜市環境創造局長
右：外山尚紀 ASA 副代表理事

参考：一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会（ASA）

国の資格である石綿含有建材調査者の団体。2016年4月に設立。中立かつ公正な非営利の事業活動を行う。平成28年熊本地震や平成30年西日本豪雨では、現地でアスベスト調査を実施。正会員約280名。代表理事 貴田 晶子。



参考：ASAの調査の様子

お問い合わせ先

（協定に関すること）

環境創造局 環境管理課長

奥山 勝秀 Tel 045-671-2474

（災害時の実施事項に関すること）

環境創造局 大気・音環境課長

山本 恵幸 Tel 045-671-2476